

抗 HIV-1 p55 抗体、ウサギ抗血清

65-013 100 µl

保存: 4℃または-20℃で送付、-20℃で保存

免疫原: 大腸菌で発現させて精製したリコンビナント HIV-1 Gag p55

形状: 0.09%アジ化ナトリウム添加抗血清

用途: HIV-1 p55 の検出や定量を目的としたウエスタンブロット法や ELISA 法に使用できる。

背景: HIV-1 Gag p55 は、エイズウイルスの増殖に必須のコア構造を構築する数種のタンパク質の前駆体である。p55 は、HIV-1 のプロテアーゼにより、まず中間体の p41 と p15 に切断され、さらに p41 がマトリックス蛋白質 p17 とカプシド蛋白質 p24 に、p15 がヌクレオカプシドタンパク質 p7 と機能不明の p6 および p1 にそれぞれ切断される (1)。

本品は、HIV-1 ウイルスゲノムの *gag* 領域にコードされている p55 遺伝子をプラスミドにクローニングし、大腸菌で多量に発現させ、クロマトグラフ法などにより高度に精製したリコンビナント p55 をウサギに免疫して作製した (2)。

本品を抗血清として用いたウエスタンブロットにおいて、エイズウイルス感染細胞抽出液中に HIV-1 p55 の 55 kD のバンドの他、17 kD、24 kD が検出された (図 1)。

データリンク GenBank: [AAA44988.1](https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nuclot/AAA44988.1)

文献

1. Freed, EO. "HIV-1 gag proteins: diverse functions in the virus life cycle." *Virology* **251**:1-15 (1998)
PMID: [9813197](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/9813197/)
2. Saito, A. *et al.* "Overproduction, purification, and diagnostic use of the recombinant HIV-1 Gag proteins, the precursor protein p55 and the processed products p17, p24, and p15." *Microbiol. Immunol.* **39**:473-483 (1995) PMID: [8569532](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/8569532/)

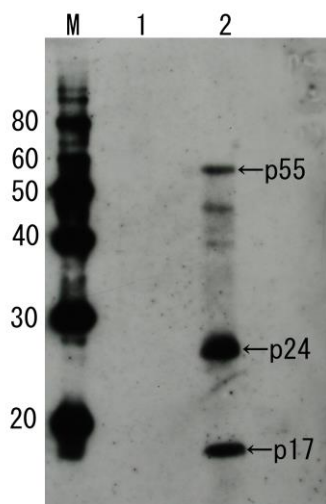


図 1 抗 HIV-1 p55 抗体を用いたウエスタンブロット法による p55 抗原の検出
レーン 1 : MT4 細胞抽出液
レーン 2 : HIV-1(LAI 株)感染 MT4 細胞抽出液
抗血清は 2,000 倍希釈して使用